

平成29年度第1回長瀬町総合教育会議議事録

期 日	平成29年11月30日（木曜日）午前9時30分から午前11時00分
場 所	長瀬町役場4階全員協議室
出席者	<p>大澤町長 野口教育長、西山教育委員、浅見教育委員、齊藤教育委員、田端教育委員 総務課長、総務課主幹、総務課副主幹 教育委員会次長、教育委員会指導主事、教育委員会専門員 学校教育指導員</p>
総務課長	<p>本日は、お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、総務課長の横山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは早速、会議に入らせていただきたいと思います。本年度第1回の会議でございますので事前に皆様に幾つかご了解をいただきたいことがございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、この総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定により、個人の秘密を保つため必要があるとき、会議の公正が害されるおそれがあると認めるとき、その他公益上必要があると認めるときを除き、公開することとしておりますことから、本会議も原則公開とさせていただきます。</p> <p>また、本日の会議の記録のため、テープへの録音につきましてご了解をお願いしたいと存じます。</p> <p>次に、会議録でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第7項の規定により、総合教育会議の終了後、遅滞なく総合教育会議に定めるところにより、その会議録を作成し、これを公表するように努めなければならないとされております。本町としましても、複数の委員による同時双方向的議論で整理しないとわかりにくい発言、同一委員による繰り返しの発言等を調整するとともに、資料に基づく事務局からの説明を省略したほぼ全文方式で発言者の氏名を含めて会議録を作成したいと思いますので、ご了解をお願いしたいと存じます。</p> <p>次に、会議録に署名する構成員については、町長及び町長が指名する1名の構成員が署名するものとしたいと存じますので、この場で町長から1名の指名をお願いしたいと思います。</p>

町 長	<p>それでは、齊藤委員さんをお願いしたいと思います。</p>
総務課長	<p>これより、平成29年度第1回長瀬町総合教育会議を開催いたします。 それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。</p> <p>開会にあたりまして、大澤町長よりご挨拶をお願いします。</p>
町 長	<p>改めまして皆さんおはようございます。本日は、平成29年度第1回長瀬町総合教育会議を招集しましたところ、委員の皆様方にはお忙しい中またお寒い中を、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、本町の教育行政の推進につきまして、ご尽力を賜っておりますことに心から感謝を申し上げます。開会に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。今、子どもたちの環境は、携帯電話やインターネットの普及により、私たち大人の目の行き届かないところで交友関係や行動範囲などが広がっております。こういった環境の中、私たち周りの大人たちが、声かけや自分の子ども以外でも関心をもち接することが大切ではないかと感じているところでございます。当町では、朝の声かけ運動や、下校時間の見守り活動など、町民の方々の協力によって長瀬町の子どもたちが安全に健やかに育っていること大変感謝しております。また今年も町内各団体が構成されますボランティアの皆様方に、3校の植木剪定をしていただきました。毎年こうして多くの皆様方のご厚意で新年がすがすがしく迎えられますことは子どもにとりましても大変良い環境で育っているなどありがたく思う次第でございます。また、本日皆様のお手元に「塔和子」さんの詩を配付させていただきました。ご存じの方もいらっしゃるかと思いますので説明は致しませんが、この詩が多くの皆様方の心に刻まれることで、いじめや老人の孤独死が無くなるのではないかと考えております。</p> <p>今後も町長部局と教育委員会が連携、協力し、この会議を充分活用して、本町の教育行政のさらなる充実発展が図れますよう、本日もどうぞよろしく願いを申し上げます。</p> <p>以上で、開会にあたりましてのあいさつとさせていただきます。どうぞよろしく願います。</p>
総務課長	<p>ありがとうございました。それでは、続きまして野口教育長よりご挨拶を頂戴したいと存じます。</p>

<p>教育長</p>	<p>改めましてみなさんおはようございます。本日は長瀬町総合教育会議に本当にお忙しい中をご出席頂き誠にありがとうございます。日頃から皆様方には長瀬町の教育行政の推進につきまして、格別のご協力とご理解をいただいていることに深く感謝申し上げます。この長瀬町総合教育会議を通して、町長部局と教育委員会が十分な意見の疎通を図って、これまで以上に緊密な連携のもとに教育行政のさらなる推進を図ってまいりたいと思います。おかげさまで今日まで、大きな事故や事件もなく教育行政が進行していますことに関係各位に改めて感謝申し上げます。しかしながら、気がつかないところで問題が発生しているかもしれません。これからもさらに、気配り目配り思いやりの精神で努めてまいりますのでよろしくご指導ご鞭撻をお願いいたします。本日の総合教育会議がより意義のある会議になりますようご祈念し挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>総務課長</p>	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして、配布資料の確認をさせていただきます。まず1点目が本日の次第、次に塔和子さんの詩、3点目が全国学力・学習状況調査 調査結果概要（小学）、4点目が、全国学力・学習状況調査 調査結果概要（中学）、5点目が、平成29年度県学調各学年における正答率・レベル・学力の伸びについて（平均値）、6点目が、長瀬町放課後子ども教室「はつらつルーム」の基本構想について、7点目が、中学生学力アップ教室「チャレンジ土曜塾」の基本構想について、8点目が、長瀬町小・中学校合同一斉授業研究会の実施について、最後、長瀬町立小学校体育実技講習会の実施について、全部で9点ございます。不足の資料はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、次第4 議題に入らせていただきます。</p> <p>長瀬町総合教育会議設置要綱第4条第1項に基づきまして、大澤町長に議長をお願いします。なお、議長として会議を進行していただきますが、あわせて協議・調整にも加わっていただきたいと思います。</p>
<p>町長</p>	<p>それでは、しばらくの間、私が議長として協議・調整を進めさせていただきます。よろしく願いをいたします。</p> <p>「議題（1）平成29年度各種学力調査について」、事務局より説明をお願いします。</p>

教育次長	<p>それではこちらの（１）につきましては塩川指導主事から説明させていただきます。</p>
指導主事	<p>それではご説明、ご報告させていただきます。ご存じの通り平成32年度より新学習指導要領という形で施行されていきます。前倒しで来年度から小学校については一部実施となっております。そんな中で特に改定のポイントとしまして、主体的、対話的、深い学び、このあたりは新聞、紙面等よくでている文言となってまいりました。同じような言葉で昨年まで、「アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学習）」というような表現であったものとほぼ同意義のものとなっております。長瀬町教育委員会では数年前から狙いを明確にした授業、振り返り、まとめの丁寧な展開、繰り返して教え込む授業の徹底を学校へ指導してきました。これは何を示しているかという1つ目が思考力、想像力、判断力の育成、2点目が基礎的学習内容の定着を狙いとしています。結果として今年度の成果として表れていると考え、結果を提示させていただきました。1枚目が4月に行われました全国学力・学習状況調査の小学校の結果になります。すべての市町村の結果は載せていないのですが北部事務所管内の市町村の中での数字になります。これは各市町村ごとの平均正答率です。小学校をみていただきますと長瀬町国語A、国語B、算数A、算数Bについて、国語B以外につきましては県北の中では一番成績がよかったのかなと考えられます。国語Bに関しましても熊谷市、さいたま市には1ポイント劣ってしまいますけど、埼玉県平均57.0ということで県平均に比べ1ポイント以上、上回ってる状況になります。県内でも小学校の平均値はトップクラスの結果だと聞いています。また、2枚目は中学校の結果になります。中学校のほうは小学校から見てしまいますと少し北部管内で劣っているように見えてしまうのですが、秩父管内では中学校も比較的高い数値をここ数年、維持している状況にあります。今年度は横瀬町のほうを見ていただきますと、国語A、国語B、算数Bについては横瀬町が独占している状況です。3枚目が今年の4月に行われました埼玉県学力・学習状況調査の結果になります。こちらについては県のほうで推進しているのが、県との平均の数値よりもむしろ昨年度からの伸び率を中心に議論のほうを進めてくださいということなので、そちらの方も示せるように用意しました。全部で13のAまである段階の中で学力の伸びを見ます。結果の分析を進め、各校の課題を明確にするなど、教育委員会としてもバックアップしていく必要があると考えております。各学校長たちも来年度に向け、既に工夫して取り組んでいただいているところです。先ほど申し上げましたアクティブ・ラーニングという</p>

	<p>ものが県内でどれくらい先生たちが推進できているかというものも数値として出ています。こちらの方に先生、個人個人のアクティブ・ラーニング実施率というものが出ておまして、これに関して言うと、成績の低かった学年学級の先生に関しても非常に高いレベルでアクティブ・ラーニングを実施していただいております。狙いを明確にすること、課題を明確にすること、子どもたちに見通しを持たせること、というあたりがうたわれております。冒頭に申しましたが、長瀬町では狙いを明確にした授業の徹底を数年来進めてまいりましたが、こちらの方は、対話的、主体的深い学びに合致するものと考えております。今年度は特に対話的という部分で各学校に研究を進めていただいているところもあります。ファシリテーターという言葉がよく出てくると思います。教員の役割としてファシリテーターとは、子どもたちが発言した事を受けて他の子にも「どう思う？」と、課題に対してみんなの意見を吸い上げて議論を活発化させていく役割といった意味です。学校の先生たちに関しては非常にレベル高い授業を展開していただいております。来年また、いい報告ができるように先生共々、頑張っていきたいと考えております。以上です。</p>
町 長	<p>ありがとうございます。ただ今事務局からご説明がありましたが、これにつきましてご質問、ご意見がございますでしょうか。</p> <p>いかがでしょう。よろしいでしょうか。それではご異議なしということをお願いしたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>続きまして、議題（２）放課後子ども教室（仮称）について」事務局より説明をお願いします。</p>
教育次長	<p>こちら、（２）（３）につきましては磯田学校教育指導員からご説明させていただきます。</p>
学校教育指導員	<p>それではご説明させていただきます。学校教育指導員の磯田と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>大変重要な会議に本件を取り上げていただいたこと改めてお礼を申し上げます。ご案内の通り、国としては放課後総合子どもプランということで今、推進しているところでございますが、この事業を受けまして長瀬町としてもぜひ来年度からスタートをかけようということで、その準備を進めているところでございます。まず初めに、長瀬町放課後子ども教室、仮に「はつらつルーム」とさせていただきます。「はつらつ長瀬」の文字をいただいたところでございます。基本構想について、概要をご説明させていただきます。</p>

きます。目的でございますが、放課後における児童の安全な居場所を確保するとともに、多様な学習・体験活動を通じて豊かな人間性を育てる、ということでございます。この構想を作成するにあたりまして、事前に7月を中心に直接、子どもたちの保護者を対象にしたアンケート調査をさせていただきました。2枚目にその結果の概要が出てございます。長一小、長二小それぞれの学校ごとに利用したいかどうか簡単な結果についてでございますが、全体としまして、長一小でいいますと「ぜひ利用したい」また、「条件が合えば利用したい」と答えてくださったのが約80%、長二小で86%、いずれも高い結果を得ておりますので、実施する価値は十分にあると判断いたしました。細かい内容ですが、ひとつは対象児童を1年生から3年生に絞った形でまず募集に入ってみようと考えました。この希望の状況にもよりますが、だいたい一小では30人程度、二小では15人程度が希望してくれればと思っております。活動場所は、できるだけ学校施設を様々な迷惑をかけない範囲で活用させて頂ければと思っております。開室日における活動内容でございます。スタートの年でございますので、決して無理なくということの基本姿勢にしまして、おおよそ火曜日と金曜日を基本にした開設をしてみようということでございます。特に行事を組まない日については、子どもたちが放課後になって拠点となる「はつらつルーム」に集まって、まずは宿題とか読書等に落ち着いて親しんでいただく。そして、4時頃を目途に集団での自由遊び、内容を決めまして安全な遊びを楽しくしてもらえそうなひとつのパターンを考えてみました。これが年間を通してあるわけですが、その中に指導員を中心にした折り紙をやるといったような室内でできる遊びなど、企画行事的なものも細かく計画をしていきたいと考えています。さらには、特別企画として夏休み中、これは本来の子ども教室の開設の時間帯とは全く違うわけですが、希望の中に、理科おもしろ実験教室の実施という投げかけに対して反響がありましたので、夏休み中3日間くらい会場を1か所に絞ってできたらいいなと考えております。さらに二学期については、通常の火曜日の時間帯の教室の中で絵画教室、あるいは郷土芸能教室も計画します。郷土芸能の伝承というもの、これは長瀬町としての大変価値のある活動だと思っておりますので、こういった部分で活かしていければと考えております。まだ具体的に何をというのはこれからになりますが、このような特別企画も取り込んでいこうとする設定でございます。理想から言えば、すべての曜日にお子さんたちをお預かりするという体制が整えばいいのかもしれませんが、学童クラブとの関連も含めて、まずは無理なくスタートできるような体制を考えたところでございます。入室基準ですが、ひとつは帰りの時刻が遅くなりま

	<p>すので保護者の方へお迎えをお願いしたいという点がございます。また学童に入っている子どもたちもおりますので、この子どもたちも「はつらつルーム」への参加が可能となるように、ということです。通常の日の中で、学童のおやつの時間等も在りますので、そういった時間帯、学童の方へ移行ができ、学童としてお帰りいただくといった流れも考えた上で併用可というふうに考えました。利用料金ですが、こういった団体に活動する場合には傷害保険に加入するのが望ましいという考え方で、800円を目途に今のところ、ご負担をいただく予定でございます。それ以外、材料費等の実費負担がございしますが、基本的には無料となります。そのほか細かい点がございしますが一番これからネックになっていくのは指導員について、適切な方をお願いしなければなりません。募集・選考等、案を練っているところでございます。対象学年、活動内容、ひとまずはこの構想で進みますが、実施していく中で見直し改善を図っていきたいと考えております。いずれにしましても初めての事でございますので、長瀬町として無理のない形として受け入れて頂けるような事業にしていければと考えておりますので、ご指導よろしく願いいたします。以上でございます。</p>
町 長	<p>ありがとうございました。ただ今ご説明がりましたが、これにつきまして何かご質問、ご意見はございますでしょうか。</p>
西山委員	<p>この案について大変良いと思うんですけど、対象児童ということで1年生から3年生、一小30名、二小15名、すごく希望者が多かった場合、たとえば抽選だとかそういったお考えはあるのでしょうか。</p>
学校教育指導員	<p>お答えいたします。実際には困るほど多く集まるかなという勝手な予想もあるところがございます。ひとつは学童に通っているお子さん、また、学校や保護者の方の考え方の中でも、児童が減少していく中で下校時の安全も併せていろいろご心配になる向きもございまして、必ずしも面白そうだといってみんなが集まってくれるかという、なかなかそうも行かないのかなと考えます。もしという場合には、もちろん考えとしては学年を絞っていくという状況にはなっていくかと思っております。小さい学年が優先されるという方向を基本的にはとっていきます。うれしい悲鳴になってほしいところでございます。</p>
町 長	<p>よろしいですか。他にどなたかございますか。</p>

<p>学校教育指導員</p>	<p>1点補足をさせていただきますが、この開設に向けては準備会をすでに立ち上げまして、現在3回の準備会を開催しております。学校長、またPTA会長さま、担当課として教育委員会、健康福祉課にもご参加いただきまして、順次このような報告をさせていただきますながら今までに至っているというところでございます。</p>
<p>町長</p>	<p>いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではご異議なしということをお願いいたします。ありがとうございました。</p> <p>続きまして「議題(3)中学生学力アップ教室(仮称)」につきまして事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>学校教育指導員</p>	<p>引き続きまして、私からご説明申し上げます。これにつきましても基本的には先ほど申し上げた国の事業の推進を受けまして、長瀬町としても中学生を対象にした事業ということで、同様に来年度からスタートしたいという考え方でございます。目的につきましては、中学生を対象とした地域と学校の連携・協働による学習支援を行い、学習習慣の確立と基礎学力の定着を目指すということでございますが、7月に小学校6年生と中学1、2年生を対象にした希望の状況のアンケート調査をさせていただきました。その結果、「ぜひ利用したい」、また「条件次第では利用したい」と、それをあわせると、およそ85%の子どもたちが積極的にとらえてるということでございましたので、実施する方向で具体化を図ってまいりました。開室につきましては、土曜日、午後の1時20分から3時30分まで。実施回数が年間20回程度、8月の初めから2月の頭までということで、予定日も具体的に入れてみました。場所については、長瀬町中央公民館の一室、また対象生徒については中学校3年生の希望者とさせていただきます。入室基準としては、なんとか自力で通っていただきたいということが条件になります。学習内容は、数学と英語、学習の積み上げが重要な教科にあたるこの2教科にまず絞らせて頂いたわけですが、対象学年をご覧いただきますように、中学校3年生に絞りました。高校入試を目指した子どもたち。今本当に進学率が高くなっておりまして、すべての子どもたちにとって課題になるわけですが、特にそういう中で基礎的な内容の定着というものをこの教室の中でしっかりと支援ができればいいなと思うわけでございます。先ほど指導主事からの説明もありましたが、現在、長瀬町としては学力的にも素晴らしいレベルも保っている中で、やはり年ごとに差もあつたりして、今後のことも含めて子どもたちの学力保証というのを行政サイドからも支援したい。一番区切りになる高校入試になんとか力になるよう</p>

	<p>な事業に、この学力アップ教室が活用できれば素晴らしいだろうという考え方で、中学校3年生に絞ってございます。日程はご覧の通りですが、指導者につきまして現在、学習塾の講師をなんとか依頼できないか調整を図って頂いております。これについても予算の関係もございまして、当局としての深いご理解の元で進める必要がでてくるわけでございますが、これによりまして信頼性等も含めた質の高い教室の開催というものに結びついていけないのではないかと考えております。ぜひこの点をご理解頂ければ有り難いと思っております。また、保護者負担につきましては、先ほど申し上げた保険料、教材費等以外は無料ということでございます。学力調査等でも具体的な成果があがるような事業に発展していけたらありがたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
町 長	<p>ありがとうございます。ただ今ご説明がありましたが、これにつきましてご質問ご意見はございますでしょうか。</p>
教育次長	<p>先ほどの補足ですが、子ども教室、中学生学力アップ事業につきましては、国・県の推進事業になりますので補助金が国から三分の一、県から三分の一、計三分の二の補助金をいただいて実施する事業であります。経費の対象が賃金、教材、備品等も対象になってますので、補助金を活用して実施していきたいと思えます。</p>
町 長	<p>いかがでしょうか。それではご異議なしということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>続きまして最後になりますが、議題（4）平成30年度長瀬町教育行政重点施策につきまして事務局より説明をお願いします。</p>
教育次長	<p>こちらにつきましては、塩川指導主事からご説明させていただきます。</p>
指導主事	<p>主だったものとして2点。教育長と年度当初に話をさせて頂く中で、小中一貫教育の推進を図っていきたいというお考えを伺いました。現在、小学校と中学校で連携と言いますと生徒指導面、学力向上面、その他諸々在るにはあるのですが、もう少し大々的に何か事業としてできないかと、いうところで考えてみました。まず「長瀬町小・中学校合同一斉授業研究会」の実施についてです。こちらの方は校長会等で既に学校のほうに連絡はしてあります。現在、各学校で要請訪問という形で県教育局等から指導者を招聘して、学校の授業を見て研究会の中で指導していくといったものが実</p>

施されています。各学校3回程度毎年実施しております。他にも授業研究会の実施は在るのですが、たとえば長瀬第一小学校で授業をやるとなったときに、二小、中学校の先生が行きたくとも見学に行けないというのが実際の所です。当然子どもたちがいるので子どもたちを自習にして先生たちがみんななくなってしまうことはできません。しかし、自分たちが教えた事がどういった風に活用されているか見てみたいといった意見がいろいろなところから出てきています。実際自分も小学校で勤務している時に中学校の先生がどのような授業をやっているんだらうと、すごく気になる部分ではありました。そんな声を吸い上げて考えましたものが、要請訪問の1回を一斉授業研究会として実施するというものです。実施方法はその日に関しては3校は午後の授業は無しにして子どもたちは全員下校させます。代表校の学校、学年につきましては1時間授業する。その際に原則町内の教員は授業に参加し、その後の研究協議も参加するという形を考えています。小中連携の推進はもちろんですが、小学校の先生が6年生で終わりではなく中学3年生の卒業までを見通して授業を展開していける、逆に中学校の先生は小学校でどんな授業をやっているかということも見られると考えております。但し、来年度に関しては先ほど申し上げましたとおり新学習指導要領に改定されることによって道徳が教科化されることや小学校は外国語が3、4年生の教科として入ってきます。さらに32年度までにプログラミング教育といったものを実施するようになってきます。そのあたりも含めて来年度に関しましては、道徳、外国語、プログラミングあたりから先生たちに授業を展開していただくような形を考えております。一斉授業研究会につきましては以上です。

もう1つ、長瀬町立小学校体育実技講習会の実施につきまして説明させていただきます。小学校に限っているのは、どうしても中学校の先生たちは教科がありますので中学校も含めてしまいますと数学の先生に小学校の体育授業のやり方をといても逆に負担になってしまいますのであえて省いています。主催は、長瀬町体力向上推進委員会です。実施の時期は夏季休業中の半日程度になります。内容としては、その他の8番を見ていただきますとこの講習会は、長瀬町立小学校に勤務する教員が埼玉県教育委員会の主催する、小学校体育実技指導者講習会に参加した年に開催する、というように考えております。今年度は長瀬第二小学校の嶋山教諭が県の方で講習に参加してまいりました。昨年度も嶋山教諭が参加しておりまして、例年長瀬町からは1名参加するような流れができていところが在りますので、このようにさせていただきました。指導者としましては研修を受けてきました教諭、プラス各学校の体育主任、プラス教育委員会ということ

で私、または磯田学校教育指導員が対応させていただきたいと考えております。先日の体力向上推進委員会の方でこんな話が出ました。中学校の体育祭で行っている集団走について、小学校でも同じようにしてもらえないかとのことでした。実を言いますと小学校でも一部の教諭は集団走をやっているのですが、かけ声が違ったりとか指導の流れが違ったりですとか、中学校に入ってきて、また体育祭に向けて集団走の指導をし直すということが出てきます。3学期にあります体力向上推進委員会の中で中学校での指導の様子と、実際に集団走をビデオで撮影したのを見たり、そういったものを小学校の先生たちに見ていただいたりして集団走も同じような形で指導できるよう協議する予定になっています。体育実技といいますと、どうしても子どもたちの技が中心になってきます。指導する側として規律面、たとえば1回笛を吹いたら先生の方を向くとか、手を上げてグーにしたらとか、このサインについてもある程度3校で統一できると小中連携が進むかなと考えております。その一環として講習会を考えました。私からの説明は以上です

町 長

ありがとうございます。ただ今説明がありましたが、この件につきまして何かご質問ご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

私の方からひとつよろしいでしょうか。これは、私も非常に良い事業だと思って聞かせていただきました。いずれは長瀬町のような小さな町は小中一貫校というような形になってくると思うんですね。その前段といったらおかしいのですが、やはり今こういった時代になってきてますので、ぜひこの事業はやっていただきたいと、今朝、埼玉新聞で秩父市がお祭りでお休みするという記事がありましたけど、それこそ1日交替でその日お休みにして授業を観ていただくといったような、午後半日だけでもそのような体制が取れるというのはいいなという思いで聞かせていただきました。実施の方向でお願いしたいと思います。先生方も大変だと思いますけど、こういったことで交流が図れることも非常にいいことだなと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

よろしいでしょうか。それではご異議なしということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

続きまして議題(5)その他に移らせていただきます。皆さんの方から何かございますでしょうか。

西山委員

遡るのですが、チャレンジ土曜がありますよね。これは中学3年生が対象だと言うことなんですけど長瀬の中学生と言うことで、たとえば私立に

	<p>行っている子とかいるんですけどそういう子も対象ということでいいんでしょうか。</p>
学校教育指導員	<p>ではご説明させていただきます。一応現段階での要件としては、長瀬町の中学校に在籍する生徒ということで考えております。</p>
西山委員	<p>長瀬中学校の生徒ということ。</p>
学校教育指導員	<p>はい。そうでございます。</p>
町長	<p>ありがとうございます。他にどなたか。</p>
教育長	<p>私の方から。資料は用意していないのですが、旧新井家にある郷土資料館の中の模様替えを文化財保護審議委員さんにお手伝いしていただきながら計画させていただいておりますが、予算等の関係もありますので、また教育委員会の中でもご説明させていただきますのでご理解をいただければと思います。具体的に、観光を兼ねてあの中を四つのテーマに分けて、そこに行けば長瀬のすべてがわかるというような感じで進めているところですのでご理解をお願いします。また町長さんには予算の方もぜひよろしくお願い致します。</p>
町長	<p>郷土資料館の話が出ましたが、酒蔵もできますので、今のままではやはりそれに似合った様なことをしていかないと、ということで今説明して頂いたようでございます。先日も予算をお願いしますというようなお話をいただきましたけど、こちらの方もご期待に添えるように努力はさせていただきます。ありがとうございます。</p> <p>他にどなたか。よろしいでしょうか。</p>
	<p>それでは質疑なしでございますので、本日上程させていただきました議題これですべてが終了いたしました。これをもちまして議長の任を解かせて頂きます。御協力ありがとうございました。</p>
総務課長	<p>ありがとうございました。それでは次回の会議の開催でございますけども、特に緊急にお集まりいただいて協議をすることがない場合には年度1回開催予定で考えております。時期がまいりましたら改めて皆様にご案内させていただきますので、よろしくお願い致します。</p>

	<p>以上をもちまして、平成29年度第1回総合教育会議を終了させていただきます。大変お疲れ様でした。</p>
--	--------------------------------------------------------

平成30年 1月19日

町長 大澤 夕子
署名委員 齋藤 慶子